

## 第5回 SUCS シンポジウム

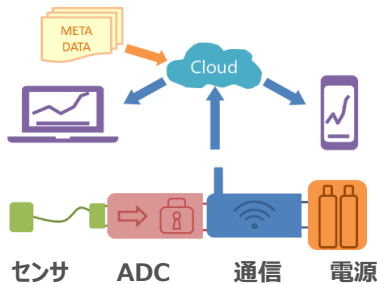
2026 年 2 月 27 日（金） 13:10～16:50 機械振興会館

# IoT センシングシステムの着実な普及を目指して

～プロトタイプ試用による SUCS 普及の課題を探る～

### 開催趣旨

働き方改革と DX 化の進展、生成 AI およびロボットの利用拡大に伴い、人手不足解消などへの IoT センサデータの利活用が重要性を増しています。これに対応するため、SUCS<sup>®</sup>※<sup>1</sup>（SENSPIRE<sup>®</sup>※<sup>2</sup> Universal Connecting System）コンソーシアムが2021年10月に設立されました。SUCS は日本発の高コストパフォーマンスで新しいセンサシステムを簡単に構築することを目的としており、センサ、AD 変換、通信、電源の4つのユニットを簡単に接続してセンシングトレインが構築できます。また、クラウドサービスでのメタデータ活用により、専門知識がなくても IoT データの可視化が可能です。今後の SUCS および IoT センシングの展開を確認いただくため官庁、産業界の講師の方々より関連するご講演をいただきます。会員のみならず非会員の皆様へも幅広く声を掛けさせていただきますので、ご興味・ご関心のある皆様の多数のご参加をお願い申し上げます。なお、本シンポジウムは対面のみでの開催となります。



SUCS センシングトレインのプロトタイプ貸出しを開始いたします。実際にご自身の現場やプロジェクトで SUCS の最新技術をご体験いただき、導入・活用の可能性を直接ご検討いただける絶好の機会となっております。会場では、プロトタイプのデモとお手に取って確認をいただけるサンプルを用意させていただきます。皆様の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

※1：SUCS は、（一社）次世代センサ協議会の登録商標である。  
※2：SENSPIRE は、Sensor×Inspire の造語であり（一社）次世代センサ協議会の登録商標である。

### プログラム

13：10～13：45 35 分	<b>SUCS の狙いの意義とプロトタイプ試用への期待</b> 繰り返し述べてきたが、非製造業分野を中核とする新オートメーション分野に想像される潜在的で膨大なセンシングニーズ顕在化することが極めて重要である。SUCS はその有効な手段と考えられ、ペイクルによる多大な支援の下、プロトタイプ提供によりセンシング技術開発の機運を促し、社会を変革する新たなキャンペーンが始まろうとしている。本講では、その意義といくつかの課題を考察しつつ今後に向けた期待に触れたい。 <b>SUCS コンソーシアム代表／東京工業大学名誉教授／次世代センサ協議会会長 小林 彬 氏</b>
13：45～14：20 35 分	<b>AI ロボティクスの実現に向けた取組</b> フィジカル AI の発展により、自律性の高い AI ロボットが次々と開発され、AI ロボットの活躍機会の増大が期待されている。一方で、AI ロボットの実用化に向けたハードウェア、ソフトウェアに加えて、データ基盤を整備するためのデータ収集面での課題も明らかになりつつある。そうした中で、我が国における AI ロボティクスの実現に向けた取組の方向性をセンサへの期待について講演を行う。 <b>経済産業省製造産業局産業機械課ロボット政策室 室長 石曾根 智昭 氏</b>
14：20～14：55 35 分	<b>SUCS の接続標準の説明と生成 AI の活用</b> SUCS をよく知らない方向けに SUCS センシングトレインとクラウドサービスの標準化および SUCS のユーザに与えるメリットを説明する。また、最新の取組として SUCS と生成 AI を利用した簡単に生産の見える化を実現した事例を紹介する。 <b>SUCS コンソーシアム 幹事／アズビル株式会社 古川 洋之 氏</b>
14：55～15：15 20 分	<b>SUCS のプロトタイプ開発とデモの説明</b> SUCS の貸出し用のプロトタイプとしてセンシングトレインとクラウドの仕様検討ならびに開発を行った。開発の実施内容と開発品について紹介する。また、本日実施するデモの内容についての説明を行う。 <b>SUCS コンソーシアム 幹事／アイフォーコム京栄株式会社 菅原 春樹 氏</b>
15：15～15：35 20 分	<b>休憩＋SUCS デモ展示</b>
15：35～16：05 30 分	<b>先端 MEMS 技術が拓くセルフケアの未来</b> 産業技術総合研究所が取り組む、先端 MEMS 技術を活用した次世代セルフケアデバイスについて紹介する。具体的には、極薄 PZT 素子を用いたハプティックデバイスの最新動向に加え、微弱な身体音（筋音・嚙下音等）を高精度に捉えるセンシング技術を紹介する。これらの技術がいかんして日常的な健康管理やリハビリテーション支援を実現し、パーソナルヘルスケアの質を向上させるのか、実用化に向けた取り組みと今後の展望を論じる。 <b>国立研究開発法人 産業技術総合研究所セルフケア実装研究センター セルフケアデバイス研究チームチーム長 竹井 裕介 氏</b>
16：05～16：25 20 分	<b>中小製造業支援と SUCS への期待～連携が拓く製造業の未来～</b> 中小製造業は、新事業開拓、人手不足対応のための自動化や経営改善など多くの課題を抱えている。そこで、機械振興協会は、DX 化が遅れている農業生産者と製造業の連携により、製造業の新事業開拓を促進する農工連携を進めた。また、商品開発、製造、製販一体化の専門家がチームとなって、製造業の自動化や経営改善の支援を行う「異業種連携チーム方式」を開発し、本方式の普及を進めている。本報では、これらの取組みと SUCS への期待について述べる。 <b>一般財団法人 機械振興協会 執行理事 技術研究所次長 木村 利明 氏</b>
16：25～16：30 5 分	<b>閉会の言葉</b> <b>SUCS コンソーシアム代表／東京工業大学名誉教授／次世代センサ協議会会長 小林 彬 氏</b>
16：30～16：50 20 分	<b>SUCS デモ展示</b>

※プログラムはやむを得ず変更になる場合があります。

**日 時** : 2026年2月27日(金) 13:10~16:50

**場 所** : 機械振興会館 (<https://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>)

B3-1 議室 (地下3階)

**主 催** : 一般社団法人次世代センサ協議会

**参加費** : SUCS コンソーシアム会員 無料 (1社3名まで)

SUCS コンソーシアム会員以外 5,000円 (懇親会費含む)

※参加費は懇親会の出欠に関わらず一律です。

※お申込み後、請求書を送信致します。口座への振込みをお願い致します。なお、当日現金でのお支払いは承っておりません。

**参加定員** : 50名

**懇親会** : 17:00~ 19:00

**場 所** : 機械振興会館「若松」 (地下3階)

**申込期限** : 2月20日(金) 但し、参加定員を超えた場合は、申し込みを中止いたします。

**申込方法** : 事前登録制となっておりますので、参加ご希望の方は下記【お申込みはこちらから】ボタンよりお申込みください。

**お申込みはこちらから**

**お問い合わせ先** : 一般社団法人次世代センサ協議会 事務局

E-mail : [office@jisedaisensor.org](mailto:office@jisedaisensor.org)